

令和5年度  
みやぎ東日本大震災津波伝承館  
運営報告



令和6年12月

宮城県復興・危機管理部  
復興支援・伝承課

# 目次

はじめに .....	- 1 -
伝承館の1年の動き等 .....	- 1 -
1 来館者の状況 .....	- 3 -
(1) 来館者数の状況.....	- 3 -
(2) 団体予約の状況.....	- 4 -
(3) 来館者アンケートの状況 .....	- 5 -
2 展示運営の状況.....	- 10 -
(1) 常設展示.....	- 10 -
(2) 企画展示.....	- 12 -
3 機能強化事業の状況 .....	- 14 -
4 情報発信（広報宣伝）の状況 .....	- 17 -
5 関係団体との連携の状況 .....	- 19 -
6 その他 .....	- 22 -
(参考1) 機能強化事業の詳細.....	- 24 -
(参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要.....	- 26 -

## はじめに

みやぎ東日本大震災津波伝承館（以下「伝承館」という。）は、東日本大震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐことを目的とし、令和3年6月6日に開館した。また、伝承館の位置する石巻南浜津波復興祈念公園（以下「公園」という。）は、令和3年3月28日に開園した。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、震災の風化が懸念される中、「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」として、展示解説を通じ、次なる災害への備えを確かなものにできるよう、全国、世界、そして次世代の人々とつながり、発信と交流に努めたことにより、5月に累計来館者数10万人を達成した。

また、令和3年4月に宮城県が策定した「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」で基本理念としている「東日本大震災の経験や復旧・復興の過程、そこからの教訓を現在（いま）、そして未来に伝え続ける」、「一人ひとりがかけがえのない大切な命を守り、災害時に『自らの命を守る行動』が実行できる社会をつくる」に基づき、地元住民、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会（以下「協議会」という。）、震災伝承みやぎコンソーシアム会員をはじめとする県内伝承団体、企業のほか、国、市町村、観光担当部局等の関係機関と連携し、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を担ってゆくことを見据え、企画展示や誘客行事、情報発信等を行った。

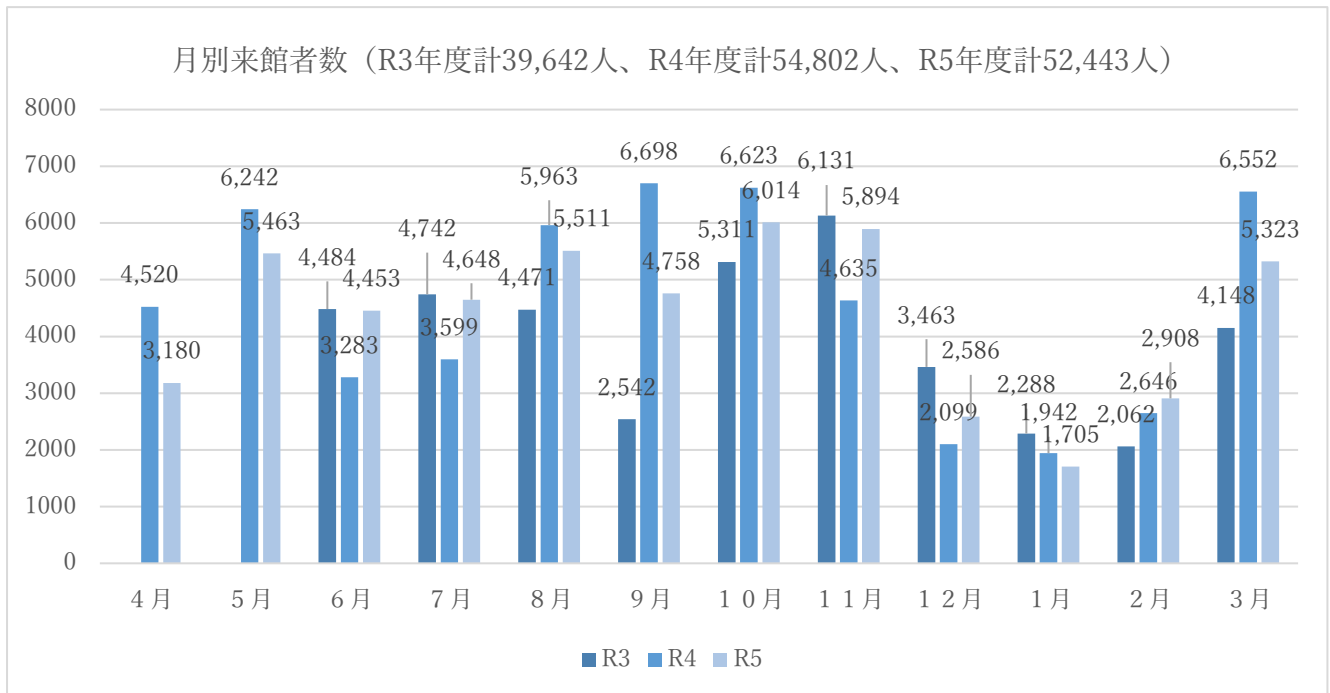
## 伝承館の1年の動き等

令和5年度	伝承館の主な動き	(参考) 県内の主な震災伝承施設の動き等
4月	15日 ボランティア解説員認定式	
5月	10日 来館者数10万人を達成	6日 「南三陸311メモリアル」 来館者10万人を達成
6月	6日 開館2周年	24日 「石巻市震災遺構門脇小学校」 来館者5万人達成
7月		2日 いしのまき防災・伝承コミュニティキックオフ会議
8月		29日 「震災遺構仙台市立荒浜小学校」 来館者数50万人を達成
9月	1日～10月29日 企画展「関東大震災と これからの備え」	
10月	1日 ボランティア解説員認定式	
11月	5日～30日 企画展「東日本大震災・原 子力災害伝承館パネル展」 23日 「ぼうさいキッズパーク」の開催	
12月		
1月		

2月	<p>1日～28日 第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示</p> <p>4日 第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール授賞式</p>	<p>15日 「名取市震災復興伝承館」来館者15万人を達成</p>
3月	<p>11日 「みやぎ鎮魂の日」</p> <p>19日～4月10日 第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示</p>	<p>9日 仙台防災未来フォーラム2024開催（仙台市）</p> <p>11日 「みやぎ鎮魂の日」</p>

# 1 来館者の状況

## (1) 来館者数の状況



令和5年度月別来館者数と平均来館者数(単位:人、日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数(A)	3,180	5,463	4,453	4,648	5,511	4,758	6,014	5,894	2,586	1,705	2,908	5,323	52,443	146,887
開館日数(B)	26	27	26	26	27	27	26	26	25	23	25	28	312	840
平均来館者数(A/B)	122	202	171	179	204	176	231	227	103	74	116	190	168	175

※1 令和3年6月6日に開館。

※2 日別最多入館者数：1,060人（3月11日）

令和5年度平日、土日祝日別来館者数(単位:人、日) ※( )は令和4年度

	平日		土日・祝日		計	
	人	(R4)	人	(R4)	人	(R4)
来館者数(A)	28,058	(26,289)	24,385	(28,513)	52,443	(54,802)
開館日数(B)	195	(195)	117	(115)	312	(310)
平均来館者数(A/B)	144	(135)	208	(248)	168	(177)

5月は、大型連休により来館者が増加したが、6月以降減少に転じた。8月以降は修学旅行等の団体利用の増加により来館者も増加した。12月以降は、来館者が大幅に減少したが、3月は「みやぎ鎮魂の日」に向けて来館者が再び増加した。

また、平日・土日祝日別の平均来館者数をみると、平日が144人、土日祝日が208人となっており土日祝日の平均来館者数が約1.4倍となっている。

(2) 団体予約の状況

令和5年度区分別団体予約件数(単位:件、人)

		予約件数			人数		
		県内	県外	計	県内	県外	計
学校	小学校	12	4	16	483	181	664
	中学校	5	14	19	234	572	806
	高等学校	7	16	23	194	828	1,022
	特別支援学校	2	3	5	66	70	136
	大学	13	19	32	256	272	528
	専門学校・その他	1	4	5	26	241	267
	計	40	60	100	1,259	2,164	3,423
学校以外	企業・業界団体等	36	105	141	512	1,866	2,378
	公共的団体等	34	69	103	701	1,180	1,881
	国(省庁、議員)	25	11	36	351	121	472
	地方自治体	11	22	33	267	473	740
	議会(県外)	-	16	16	-	154	154
	宮城県(職員、県議会)	12	-	12	156	-	156
	地域の団体	4	7	11	83	114	197
	個人のグループ	11	40	51	63	263	326
	その他	32	90	122	615	1,934	2,549
	計	165	360	525	2,748	6,105	8,853
合計		205	420	625	4,007	8,269	12,276

学校では、県外の大学(19件)の利用が最も多い。県内は大学(13件)と小学校(12件)の利用が多い。

学校以外では、県内・県外とも、企業や業界団体(141件)等の職域での利用が最も多く、その他の団体(122件)、自治会や民生児童委員協議会などの公共的団体等(103件)が続く。

令和5年度都道府県別団体予約件数(単位:件、人)

	件数	人数		件数	人数		件数	人数	
北海道	12	224	富山県	2	37	鳥取県	1	5	
青森県	3	51	石川県	3	41	島根県	6	100	
岩手県	15	237	福井県	1	7	岡山県	1	38	
宮城県	205	4,007	山梨県	1	17	広島県	4	227	
秋田県	12	229	長野県	13	310	徳島県	3	53	
山形県	23	411	岐阜県	2	37	香川県	5	91	
福島県	36	693	静岡県	17	222	愛媛県	5	75	
茨城県	12	180	愛知県	19	247	高知県	3	56	
栃木県	13	271	三重県	1	30	福岡県	14	420	
群馬県	2	29	滋賀県	1	22	佐賀県	1	8	
埼玉県	16	317	京都府	6	228	熊本県	2	35	
千葉県	23	457	大阪府	13	154	宮崎県	4	37	
東京都	57	1,190	兵庫県	11	329	鹿児島県	1	13	
神奈川県	15	327	奈良県	1	13	沖縄県	2	21	
新潟県	13	410	和歌山県	2	17	その他	23	353	
							合計	625	12,276

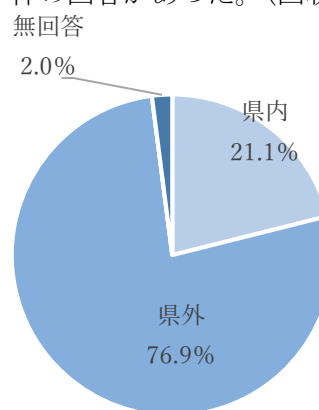
都道府県別にみると、宮城県（205件）が最も多く、東京都（57件）、福島県（36件）が続く。

(3) 来館者アンケートの状況

館内において来館者に対するアンケート調査を実施。147件の回答があった。（回収率0.3%）

① 回答者の居住地(単位:件、%)

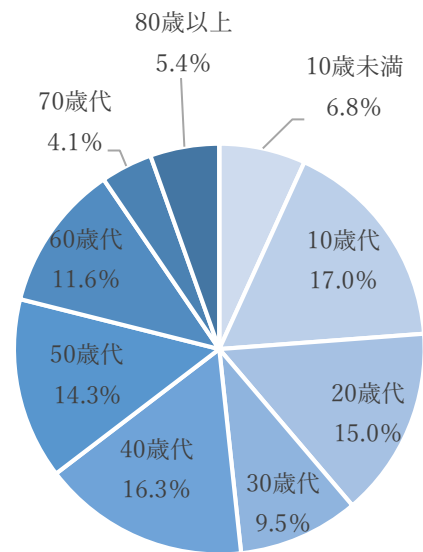
	回答数	割合
県内	31	21.1%
県外	113	76.9%
海外	0	0%
無回答	3	2.0%
合計	147	-



回答者の居住地を見ると、県外が約76.9%となっており、県内を上回った。

② 回答者の年齢(単位:件、%)

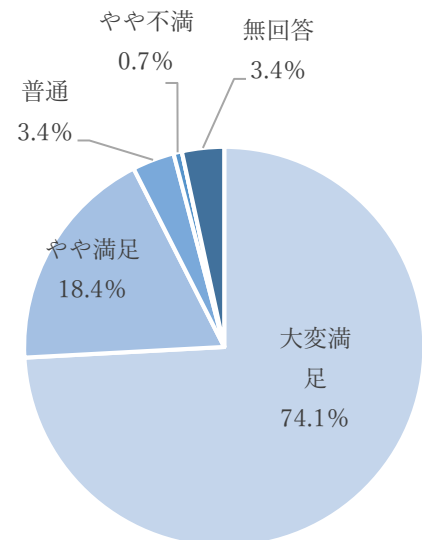
	回答数	割合
10歳未満	10	6.8%
10歳代	25	17.0%
20歳代	22	15.0%
30歳代	14	9.5%
40歳代	24	16.3%
50歳代	21	14.3%
60歳代	17	11.6%
70歳代	6	4.1%
80歳以上	8	5.4%
無回答	0	0%
合計	147	-



回答者の年齢を見ると、10歳代が最も多く、次いで40歳代、20歳代が続く。40歳代以下が全体の6割以上を占めている。

③ 施設満足度(単位:件、%)

	回答数	割合
大変満足	109	74.1%
やや満足	27	18.4%
普通	5	3.4%
やや不満	1	0.7%
不満	0	0%
無回答	5	3.4%
合計	147	-

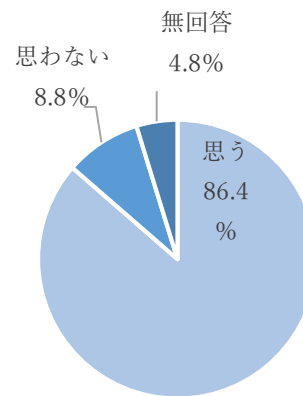


施設全体の満足度については、「大変満足」との回答が7割以上を占めており、「やや満足」との回答を含めると9割以上の方から「満足」との回答があった。



④ 当館を見学して、他の震災伝承施設等へ行ってみたいと思ったか。(単位:件、%)

	回答数	割合
思う	127	86.4%
思わない	13	8.8%
無回答	7	4.8%
合計	147	-



8割以上の方から他の震災伝承施設等へ行ってみたいと「思う」との回答があった。

⑤ 展示について(よかった展示・よくなかった展示)(単位:件)※重複回答あり

	よかった	よくなかった
つなぐ記憶	63	4
東日本大震災を知る	73	3
シアター「くり返さないために」	111	6
津波から命を守る	61	6
ともにつくる復興	44	3
「語り部」からのメッセージ	66	1
一人ひとりの記憶	55	0
合計	473	23

#### よかった展示(抜粋)

- ・シアターは特に震災の深刻さをしっかりと伝えられていると思った。
- ・時間とともに記憶は薄れてしまうので、テレビでは知れない声や映像も見れ、印象に残った。
- ・VRの施設紹介がよかった。
- ・語り部の方のメッセージは特に心に残った。
- ・津波の怖さを知った。当時の映像と語りを聞くと、より現実味をもって話しを聞くことができ実感が湧いた。
- ・まとめられており内容が分かりやすかった。
- ・当日のことがばかりが目立ちはちだが、救助や復興のこともよく知れてよかった。
- ・様々な個人の多様な証言や振り返りの声が聞ける機会が用意されていてよかった。
- ・展示内容が「逃げる」で一貫していてわかりやすかった。

#### よくなかった展示(抜粋)

- ・壁の色や大きさの影響で情報が分かりづらい感じがした。
- ・映像が明るくて見えづらく残念だった。暗くするかモニター形式にしてほしい。
- ・シアター施設の改善を強く望む。
- ・習っていない字があり内容が読めなかった。
- ・(ともにつくる復興、「語り部からのメッセージ」について) 座って見たかった。

展示内容についての設問では肯定的な回答が多く、津波の怖さや震災の深刻さ、逃げることの重要性など、当館が伝えたいメッセージがしっかり伝わったという感想も見られた。

一方、映像の明るさなど、視認性の改善を求める回答もあった。

#### ⑥ その他、自由記述欄にいただいたご意見(抜粋)

(開館日・開館時間について)

- ・もう少し早く(8時30分頃から)開館してほしい。
- ・他の施設とあまり変わらないので計画が立てやすい。
- ・夜も開館していたらうれしい。
- ・施設の展示についてはほぼ満足だが、駐車場の閉鎖時間については不満。

(施設について)

- ・清潔で気持ちが良い。
- ・非常に綺麗で明るい雰囲気だった。
- ・ゴミが落ちているところがあった。

(職員・スタッフについて)

- ・丁寧な説明で大変良かった。
- ・利用者の意図や時間を妨げない程度に案内をすすめてくださり大変気遣いを感じ

た。

- ・現場のスタッフの方たちは熱心に生の声を伝えてくださり大変理解が深まった。
- ・言語がマスクではっきりしない人がいる。

(その他)

- ・石巻駅からの行き方が分かりづらい。アクセスについてももう少し親切だと助かる。
- ・建物の高さ＝津波の高さは非常にイメージしやすく分かりやすかった。
- ・報道で見たり聞いたりするより残された建物や伝承館に来て実際自分の目で見ることの重みを感じた。
- ・もう少し駐車場が近ければいいと思う。
- ・駐車場の入口が分かりにくかった。
- ・他の施設やバス等のアクセスが相談しやすい環境であればもっと足を運びやすくなると思う。
- ・休憩できるところがもう少しあるといいと思う。
- ・いつまでも震災の教訓を伝え続けてほしい。
- ・岩手・宮城・福島のアークイブ施設をほぼ回っているが、宮城県を代表する施設としてもっと多くの人が訪れやすい態勢を整えてほしい。
- ・他県にももっとPRしてもよいのではないか。
- ・散歩コース（何k m）を表示してほしい。

## 2 展示運営の状況

### (1) 常設展示

震災伝承に関する展示を通じ、国内外から来館する多くの方々に対し、県内の被災の大きさや復興の状況、語り部や民間団体等の想いを通し津波から命を守るための行動の重要性等を伝える。

そのために、解説員を常時4人配置し、希望する来館者に対し随時展示解説を行ったほか、予約した団体の方に、シアターの席の確保や展示解説を行った。




※ 国土交通省東北地方整備局が整備した展示についても、宮城県で解説した。

### ●展示コンセプト



「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」

### ▲展示内容・特徴

リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行う団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝える（映像出演者：79団体90人）。

展示構成	展示内容・目的	写真
<b>コンセプトパネル</b>  ・パネル1枚 ・衣服1式	東日本大震災による津波に巻き込まれながらも一命を取り留めた、当時石巻市南浜地区にて被災した方が、当時身につけていた衣類及び当時撮影した写真をパネル化し、展示している。	
<b>① つなぐ記憶</b>  ・本編「つなぐ記憶」（約7分） ・待機映像「記憶のまち」（約5分）	在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアター。	
<b>② 東日本大震災を知る</b>  ・「被害」、「津波」、「地震」の3つのパネルで構成	観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝える。	

<p>③ シアター 「くり返さないために」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本編「くり返さないために」 (約 11 分)</li> <li>・収容可能人数：約 40 人</li> <li>※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、当面の間 20 人で運用</li> </ul>	<p>ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”しかないことを徹底して訴える。</p>	
<p>④ 津波から命を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面パネル</li> <li>・窓側パネル</li> <li>・証言モニター</li> </ul>	<p>“津波から命を守る”ための意識を植え付け、将来の危機に備える行動を強く促す。</p>	
<p>⑤ ともにつくる復興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22 の団体をマグネットパネル と 55 インチモニターにて紹介</li> </ul>	<p>県内各地の団体や企業、様々な人のまちを元気にする取り組みや場所を映像で紹介し、今の「みやぎ」を発信する。</p>	
<p>⑥ 「語り部」からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18 の語り部団体・個人をモニター5 台にて紹介</li> </ul>	<p>県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ訪れてもらうきっかけを提示する。</p>	
<p>⑦ 一人ひとりの記憶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生業」、「共助」、「日常」、「救助」の4テーマで計 39 人（団体）をモニター4 台にて紹介</li> </ul>	<p>被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示する。</p>	

<p>♣ 東日本大震災・緊急対応の記録</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>発災以降の緊急対応の記録と被災物を通じて津波の脅威を伝え、頻発する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♥ 3.11 伝承ロード</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>東日本大震災の実情と教訓を学ぶことができる「震災伝承施設」を紹介する。</p>	

## (2) 企画展示

伝承館内の多目的スペース「思い致す場」等において、歴史的な災害の紹介や、他の伝承施設と連携した期間限定の企画展示を2回実施した。

### 企画展「関東大震災とこれからの備え」

日時：令和5年9月1日（金）～令和5年10月29日（日）

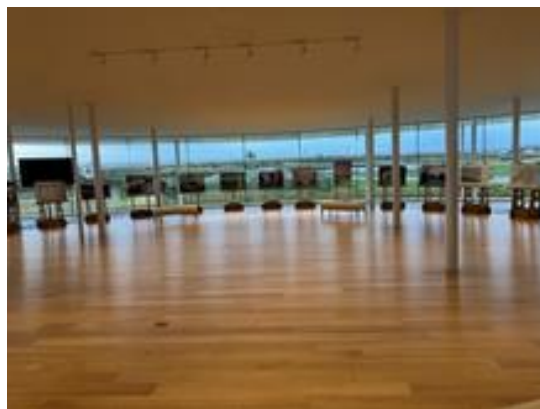
内容：関東大震災の発災から節目の100年を迎えることから、東京都復興祈念館、東京消防庁消防防災資料センター等にご協力をいただき、関東大震災の概要や津波被害を含む被災状況を写真や記録映像で紹介したもの。



## 企画展「東日本大震災・原子力災害伝承館パネル展」

日時：令和5年11月5日（日）～ 令和5年11月30日（木）

内容：東日本大震災・原子力災害伝承館のご協力をいただき、地震、津波、原発事故による複合災害の状況やその影響など、宮城県とは異なる福島県の震災の実状を紹介する企画展を実施したものの。



### 3 機能強化事業の状況

伝承館の機能強化を目的とした東北大学災害科学国際研究所との共同研究により、思い致す場を活用した語り部講話及び講演会に加え、家族向けの防災啓発イベント、ポスターコンクール等を開催した。

※各回の実施内容等の詳細は、別紙（参考1）のとおり

#### (1) 3.11 みやぎ語り部講話

日 時：令和5年4月15日（土）～令和6年3月30日（土）

※原則毎週土曜日 11:00～12:00、13:30～14:30 に開催

内 容：語り部を招き、東日本大震災の被災や復興に関する体験等についての講話会を計82回開催。

話し手：21名（うち、初めて語り部の形式で講話した方：4名）

延べ参加人数：1,254名



#### (2) 3.11 学びなおし塾

日 時：令和5年4月9日（日）～令和6年2月4日（日）

※偶数月第一日曜日 13:30～14:30 に開催

内 容：大学の研究者を招き、東日本大震災について「これまで分かっていること」「新たに分かったこと」を最新の研究から学ぶための講演会を計6回開催。

延べ参加人数：95名





### (3) 知りたいみやぎ復興の知恵

日 時：令和5年5月7日（日）～令和6年3月3日（日）

※奇数月第一日曜日 13:30～14:30 に開催

内 容：復興に向けた歩みのなかで、最前線で活躍されている方を招き、東日本大震災における新たな「学び」「気づき」を参加者と共有するための講演会を計6回開催。

延べ参加人数：82名



### (4) ぼうさいキッズパーク

日 時：令和5年11月23日（木・祝）11:00～12:00、13:00～14:00

内 容：家庭での「防災のきっかけづくり」のために、子供も大人も楽しみながら学べるプログラムを開催。

延べ参加人数：34名（うち、午前21名、午後13名）



### (5) 第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール

募集：令和5年6月27日（火）～令和5年9月15日（金）

表彰式：令和6年2月4日（日）

内容：小学生・中学生・高校生・高等専門学校生を対象として、「災害伝承」をテーマとしたポスターコンクールを開催。

応募数：145点



### (6) ボランティア解説員の募集

内容：次世代の震災伝承の担い手の育成を図るため、小学生、中学生、高校生、大学生、専門学生等を対象として、伝承館のボランティア解説員を募集し、認定したもの。

認定者：高校生2名

認定式：令和5年4月15日（土）、令和5年10月1日（日）



### (7) 伝承館イベントのYouTube配信とアーカイブ化

内容：伝承館でのイベント開催時にYouTube配信を行い、配信内容をアーカイブ化するようシステム構築したもの。

掲載コンテンツ数：50

最大再生回数：210回（3.11みやぎ語り部講話）

アーカイブ動画サムネイル



3.11みやぎ語り部講話

## 4 情報発信（広報宣伝）の状況

### (1) パンフレット配布

来館者に日本語のほか、英語、中国語（繁体語、簡体語）、韓国語のパンフレットを配布した。



### (2) 報道機関への情報提供によるパブリシティ

県政記者クラブ等への情報提供を通じて、県内向け報道の充実を図った。

### (3) ホームページによる情報発信

伝承館の常設展示・企画展示、利用案内のほか、団体予約受付の案内等を掲載した。

### (4) 伝承館紹介動画公開

伝承館のPRのため、約4分間の紹介動画を県HPに掲載した。



### (5) SNSによる情報発信

X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram ページを開設し、開館情報や館内イベント等について随時発信した。

R6. 3. 31 時点

媒体	投稿数	フォロワー数
X（旧 Twitter）	120	602
Facebook	63	471
Instagram	63	239

## (6) グッズ作成

伝承館のPRのため、取手付きクリアファイル12,000部を作成し、来館者に配布した。



## 5 関係団体との連携の状況

### (1) 公園関係者との連携

公園関係の官民で構成される「石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会」の総会、伝承部会をはじめとする各部会に参加し、情報共有、意見交換等を実施した。

### (2) 県内伝承団体・伝承施設・市町村等との連携

県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を果たせるよう、県内伝承団体・市町村と情報共有を密にするとともに、提供いただいたチラシ及び冊子について、伝承館に配架し、来館者に提供した。

また、震災伝承ネットワーク協議会の「伝承施設登録」において第3分類に登録されている施設に施設紹介動画の提供を依頼し、協力いただいた施設の動画を、伝承館内で随時放映するとともに、令和6年3月9日（土）に開催された仙台防災未来フォーラムの会場内で放映する等、伝承施設のPRを実施した。

### (3) 震災伝承ネットワーク協議会・3.11 伝承ロード推進機構との連携

#### ① 震災伝承ネットワーク協議会

東北地方整備局、被災4県及び仙台市で構成する震災伝承ネットワーク協議会において公募・登録を実施している「震災伝承施設」の登録数は次のとおり。

震災伝承施設登録数 (令和6年3月31日現在)

所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳			所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳		
		第1分類	第2分類	第3分類			第1分類	第2分類	第3分類
仙台市	24	10	10	4	亙理町	4	1	3	
石巻市	43	23	12	8	山元町	5	1	1	3
塩竈市	3	1	1	1	松島町	9	5	3	1
気仙沼市	17	8	4	5	七ヶ浜町	2		2	
名取市	9	2	4	3	大郷町	1	1		
多賀城市	4		4		涌谷町	2	2		
岩沼市	8	4	3	1	美里町	2	2		
登米市	7	7			女川町	4		4	
東松島市	9	7	1	1	南三陸町	6	2	1	3
大崎市	2	2			<b>合計</b>	<b>161</b>	<b>78</b>	<b>53</b>	<b>30</b>

※「震災伝承施設」の登録にあたっては、各施設を①震災伝承、②訪問しやすさ、③理解しやすさの点から、次のとおり3つに分類している。

第1分類：①だけを満たす施設、第2分類：①及び②を満たす施設、第3分類：①②③全てを満たす施設

#### ② 3.11 伝承ロード推進機構

3.11 伝承ロード推進機構の事業と連動し、アドバイザー委員会の出席等を通じ、広域的な震災伝承ネットワークの構築に向けた取組を推進した（ツアーの受け入れ等）。

#### (4) みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターとの連携

伝承館をはじめとする県内伝承施設等を県外の修学旅行等のコースとしていただけるよう、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター（以下「センター」という。）と随時意見交換を実施したほか、センターが発行する「宮城県教育旅行ガイドブック」冊子及び「みやぎ海への旅案内」サイトに伝承館の情報を掲載した。

#### (5) 伝承館の多目的スペース「思い致す場」での関係団体の取組

伝承館の多目的スペース「思い致す場」において、下記のとおり様々な団体が企画展や語り部講話等を実施した。

日付	内容	実施団体
令和5年4月9日（日）	3.11 学びなおし塾『『国勢調査報告』に見る東日本大震災後の被災地の人口減少について』	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年4月15日（土）～ 令和6年3月30日（土）	3.11 みやぎ語り部講話（毎週土曜日開催、全82回）	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年4月15日（土）	ボランティア解説員認定式	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年4月16日（日）	テラー・リーダーズ・プロジェクト講演会	テラー・リーダーズ・プロジェクト
令和5年4月25日（火）～ 令和5年6月30日（金）	ど根性ひまわり 12 世笑顔の写真展	がんばろう！石巻の会
令和5年5月7日（日）	知りたいみやぎ復興の知恵「東日本大震災復興からあらたなステージへ 仙台東部沿岸地区から新しいにぎわい・交流を創出する『アクアイグニス仙台』」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年5月10日（水）	来館者 10 万人達成記念セレモニー	宮城県
令和5年6月4日（日）	3.11 学びなおし塾「長期的なこども・若者支援を描く-中高生時代に被災を経験した子育て家庭の現状をてがかりに-	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年7月2日（日）	知りたいみやぎ復興の知恵「復興の先に見たかった未来を『平地の杜づくり』から考える」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年7月2日（日）	いしのまき防災・伝承コミュニティキックオフ会議	石巻市
令和5年7月22日（土）～ 令和6年3月16日（土）	県内語り部プロジェクト（月2回土曜日開催、全18回）	（公社）3.11 メモリアルネットワーク
令和5年8月6日（日）	3.11 学びなおし塾「震災復興と地域経済の再生」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年8月20日（日）	宮城学院女子大学多言語紙芝居報告会	宮城学院女子大学

令和5年9月1日(金)～ 令和5年10月29日(日)	企画展「関東大震災とこれからの備え」	宮城県
令和5年9月3日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「地域文化としての地酒～故郷・閑上と歩んだ酒蔵の復興～」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年10月1日(日)	3.11 学びなおし塾「中長期的大規模調査からみえてきた震災の健康影響とその対策」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年10月1日(日)	ボランティア解説員認定式	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年11月5日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「ここは津波がきたまち。海へ行こう」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年11月5日(日)～ 令和5年11月30日(木)	企画展「東日本大震災・原子力災害伝承館パネル展」	宮城県 (協力：福島県)
令和5年11月23日(木・祝)	ぼうさいキッズパーク	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和5年12月3日(日)	3.11 学びなおし塾「創り育てる遺構 生活史調査をもとに考える」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年1月7日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「『逆行力』でつくる生業：コミュニティスペースうみねこ」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年2月1日(木) ～令和6年2月28日(水)	第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示及び授賞式(授賞式は2月4日(日))	宮城県
令和6年2月4日(日)	3.11 学びなおし塾「東日本大震災の被災地での防災教育」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年2月23日(金・祝)	第5回東日本大震災から学ぶべきもの	(一社)健太いのちの教室
令和6年3月3日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「津波常襲地帯で互いに支え合って暮らす人々」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年3月19日(火) ～令和6年4月10日(水)	第2回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示	宮城県

## 6 その他

### (1) 避難訓練の実施

令和5年7月10日(月)に公園管理者と合同で避難訓練を実施し、避難場所及び避難誘導方法等を確認した。また、令和5年11月5日(日)に石巻市総合防災訓練にあわせシェイクアウト訓練を実施した。

さらに、令和6年2月11日(日)には、(公社)3.11メモリアルネットワークと近隣町内会との合同避難訓練に参加した。

### (2) 3月11日(みやぎ鎮魂の日)の取組

宮城県では、東日本大震災が発災した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めているが、発災から13年目となる令和6年3月11日(月)に、来館者用の献花を用意するとともに、知事ビデオメッセージを放映し、来館者が黙とういただける場を設営した。



### (3) 解説員研修

解説員の展示解説能力の向上を図るため、他の震災伝承施設の視察や、語り部講話の聴講等を随時実施した。

### (4) 展示施設の維持管理

動作確認等の日常点検及び年2回の保守点検を実施した。



### (5) 震災遺構VRの導入

「一人ひとりの記憶」コーナーへVRヘッドセットを2台導入し、展示内容の充実を図った。



### (6) NHK 東日本大震災「未来への証言」コーナーの設置

日本放送協会仙台放送局の協力により、「東日本大震災「未来への証言」」に出演された方のインタビュー音声を聴講できるコーナーを設置した。



(参考1) 機能強化事業の詳細

※講話者等の所属・肩書は開催当時のもの

(1) 県内語り部講話

年	月日	話し手	午前	午後	新規	被災地域	コーディネーター
令和5年	4月15日	がんばろう！石巻の会 黒澤健一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	4月22日	SAY'S東松島 山縣嘉恵さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	4月29日	大川伝承の会 三條すみゑさん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	5月6日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	東北大学大学院工学研究科 渡邊勇
	5月13日	絆の駅石巻ニューゼ 平井美智子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	5月20日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子
	5月27日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	宮城県東部地方振興事務所 五十嵐綾
	6月3日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	○		七ヶ浜町	ラジオ石巻 青木絵美
	6月10日	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		気仙沼市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月17日	Tell〜子どもの目線から伝える被災地〜 武山ひかるさん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月24日	会社員 岩淵正善さん	○	○	※	東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月1日	名取市立不二が丘小学校校長 荒明聖さん	○	○	※	東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月8日	阿部佳那子さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	7月15日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月22日	大川伝承の会 三條すみゑさん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月29日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 草島真人さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月5日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	8月12日	会社員 須藤扶美子さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月19日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 三浦浩さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月26日	チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月2日	会社員 岩淵正善さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月9日	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 松浦敏枝さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月16日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 草島真人さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月23日	名取市立不二が丘小学校校長 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月30日	チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	10月7日	絆の駅石巻ニューゼ 平井美智子さん	○	○		石巻市	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子
	10月14日	やまもと語り部の会 井上剛さん	○	-		山元町	ラジオ石巻 青木絵美
	10月21日	会社員 岩淵正善さん	○	-		東松島市	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子
	10月28日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月4日	名取市立不二が丘小学校校長 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月11日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	-		名取市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月18日	Tell〜子どもの目線から伝える被災地〜 武山ひかるさん	○	-		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月25日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	○		七ヶ浜町	ラジオ石巻 青木絵美
	12月2日	会社員 岩淵正善さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	12月9日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	12月16日	高崎経済大学 菊地昌太さん	○	-	※	東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
12月23日	名取市立不二が丘小学校校長 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美	
令和6年	1月6日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 三浦浩さん	○	-		石巻市	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	1月6日	命のかたりべ 千葉颯丸さん	-	○	※	石巻市	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	1月13日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	-		名取市	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	1月20日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	-		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	1月27日	チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	2月3日	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		気仙沼市	ラジオ石巻 青木絵美
	2月10日	会社員 岩淵正善さん	○	-		東松島市	宮城県東部地方振興事務所 五十嵐綾
	2月17日	大川伝承の会 三條すみゑさん	○	-		石巻市	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子
	2月24日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月2日	名取市立不二が丘小学校校長 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月9日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月16日	やまもと語り部の会 井上剛さん	○	-		山元町	ラジオ石巻 青木絵美
	3月23日	会社員 岩淵正善さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月30日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 草島真人さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月30日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 三浦浩さん	-	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美

※：被災体験を講話の形式ではじめてお話をいただいた方

(2) 3.11 学びなおし塾

年	月日	講演者	講演題目
令和5年	4月9日	東北大学大学院経済学研究科 教授 吉田浩氏	「国勢調査報告」に見る東日本大震災後の被災地の人口減少について
	6月4日	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 清水冬樹氏	長期的な子ども・若者支援を描く - 子育て家庭の現状をてがかりに -
	8月6日	東北大学大学院経済学研究科 教授 増田聡氏	震災復興と地域経済の再生
	10月1日	東北大学災害科学国際研究所 所長・教授 栗山進一氏	中長期的大規模調査からみえてきた震災の健康影響とその対策
令和6年	12月3日	岩手大学地域防災研究センター 坂口奈央氏	創り育てる遺構 生活史調査をもとに考える
	2月4日	東北大学災害科学国際研究所 教授 佐藤健氏	東日本大震災の被災地での防災教育

### (3) 知りたいみやぎ復興の知恵 (旧 3.11 げんば探訪)

年	月日	講演者	講演題目
令和5年	5月7日	仙台reborn株式会社/AQUAIGNIS SENDAI 支配人 平間雅孝氏	東日本大震災復興からあらたなステージへ 仙台東部沿岸地区から新しいにぎわい・交流を創出する「アクアイグニス仙台」
	7月2日	一般社団法人ウィーアーワン北上 代表理事 佐藤尚美氏	復興の先に見たかった未来を「平地の杜づくり」から考える
	9月3日	有限会社佐々木酒造店 専務取締役 佐々木洋氏	地域文化としての地酒～故郷・閑上と歩んだ酒蔵の復興～
	11月5日	特定非営利活動法人浜わらす 事務局長 天澤寛子氏	ここは津波がきたまち。海へ行こう。
令和6年	1月7日	コミュニティスペースうみねこ 代表 八木純子氏	「逆境力」でつくる生業：コミュニティスペースうみねこ
	3月3日	歌津地区復興支援の会一燈 代表 小野寺寛氏	津波常襲地帯で互いに支え合って暮らす人々

### (4) ぼうさいキッズパーク

年	月日	講演者	講演題目
令和5年	11月23日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔氏	ゲームで災害を体験！？“災害を生き抜くチカラおためしゲーム”
		東北大学災害科学国際研究所 准教授 榎田竜太氏	建物って、地震でなんで揺れるの？

## (参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要

### (1) 基本情報

- ①名 称 みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ②所 在 地 宮城県石巻市南浜町2丁目1-56(石巻南浜津波復興祈念公園内)
- ③開館年月日 令和3年6月6日(日)
- ④開館時間 午前9時から午後5時まで(最終入館は午後4時30分)
- ⑤休 館 日 毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/4)  
※GW期間を除く  
※ただし、毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館する。
- ⑥入 館 料 無料

### (2) 施設(建物情報)

- ①面 積 1,520㎡(うち、展示面積765㎡)
- ②コンセプト 伝承館の建物は屋内直径40mの正円形の建物で、屋根は林立する122本あるランダムな細い柱で支えられ、建物周辺に植えられた樹林(マツ)が成長した際に連続した空間となるようデザインされています。外壁は全方位を見渡せるよう透明なガラス張りとしており、屋内からの視線の先には、日和山、善海田稲荷、石巻市震災遺構門脇小学校、追悼の広場、日本製紙工場の複数の煙突の煙などをとらえることができます。  
また、建物の一番高い北側の屋根の高さは6.9mで、この地を襲った津波が停滞したときの高さを体感できるようになっています。
- ③そ の 他 建物所有、管理は国で行っています。

### (3) 運営体制

宮城県復興支援・伝承課職員(東部地方振興事務所職員が兼務)が常駐しているほか、県の委託した展示解説員が、希望する団体・個人に対し展示解説を行っています。